

年 月 日

乳腺外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「転移・再発乳癌薬物治療において投与量の減量に関わらず、一次化学療法を継続することが全生存期間を延長する可能性の検討」への協力をお願い

乳腺外科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2004年6月1日～2021年12月31日の間に当科において、転移・再発乳癌に対して薬物療法を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2027年12月31日

研究目的・利用方法：

再発・転移性乳癌の薬物治療では、化学療法として様々な薬剤を使用することで生命予後の延長を目指します。たとえ投与量を減量したとしても、一次化学療法を可能な限り継続することが生命予後の延長に影響するかどうかを、診療録の情報から検討します。

研究に用いる試料・情報の種類：

一般身体所見：年齢、性別、PS

画像検査所見：マンモグラフィー検査所見、乳房超音波検査所見、CT所見、乳房MRI検査所見

病理所見：組織型、ER、PgR、HER2、DISH、MIB-1、核グレード

TNM分類、Stage分類、治療内容、治療効果

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 乳腺外科

電話番号：058-230-6235

氏名：森龍太郎

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 乳腺外科

氏名：二村学

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@gifu-u.ac.jp